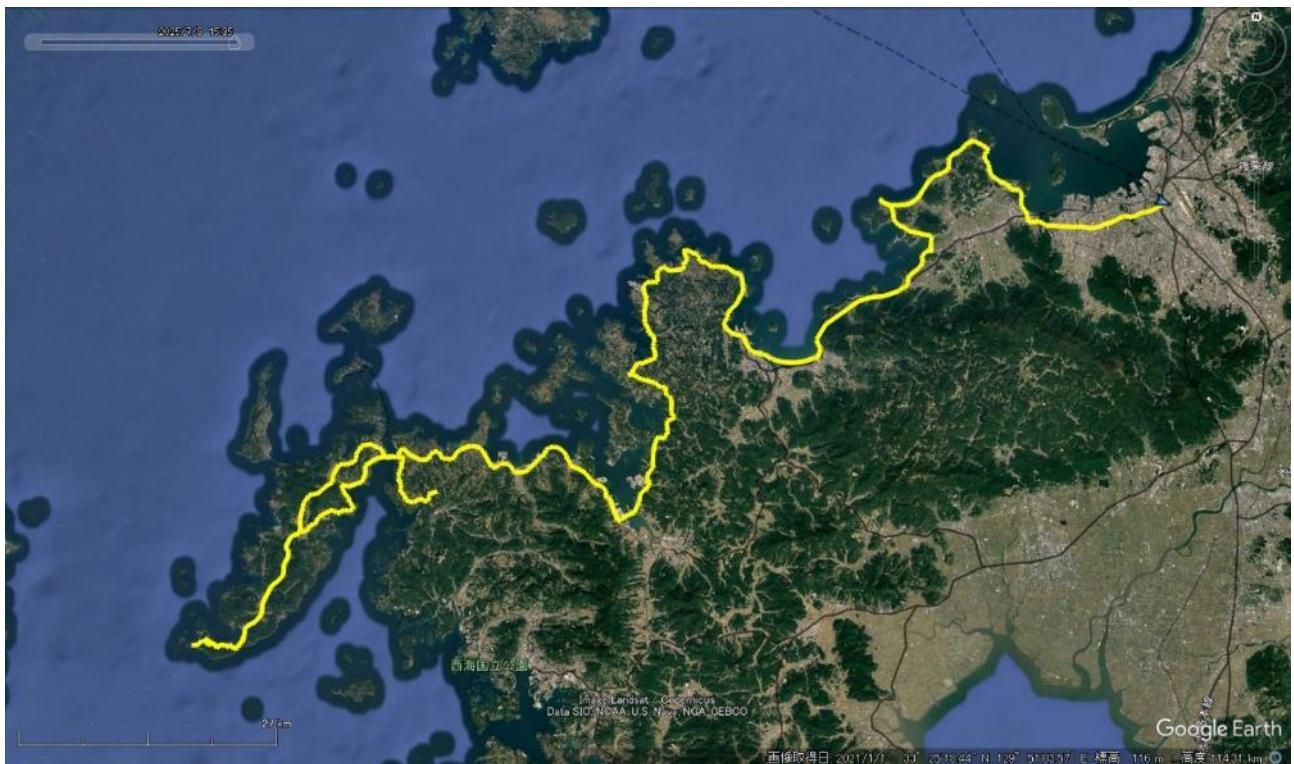


☆11日目（7月3日）：佐世保から福岡まで



行程地図 (11日目) _記録 OLYMPUS TOUGH TG-6

家を出て 10 日を過ぎると、連日の暑さも効いて、なかなか疲れも出てくる。しかし、今日頑張れば明日は福岡の親戚と会う日なので、1 日バイク乗りはお休みとなる。この宿は、朝飯付なので、朝食を食べてから出発。今日もいいお天気、暑くなりそう。



写真 637. 無料だけどいまいちなバイキング



写真 638. 今日もいいお天気

朝食を頂いたので、いつもより遅いスタート。国道 204 号で隣の田平町にある道の駅「昆虫の里たびら」に寄る。開店前なのは分かっていたが、全国で数台しかない自動販売機があるというで見に来た次第。それは、「昆虫食自動販売機」。お土産に買う予定だったが、この高温多湿の旅で劣化してバッグの中が匂ってきたりしたら困るのでやめた。

ここ田平町には、「たびら昆虫自然園」もあり、何故昆虫に力を入れているか調べたところ、有名な昆虫写真家の栗林慧の出身地で、彼が帰郷して昆虫の町の尽力しているそうだ。私が高校生くらいの時に、最新の機器を駆使して、今まで見たことない昆虫写真を発表して話題となったのを覚えている。近くに彼の写真研究所があるというので行ってみた

が、細い私道を入っていく感じだったので、早朝バイクで入るのは気が引けて、引き返した。田平教会の前を通って先に進んだ。この教会の鳥山神父は昆虫収集家で、「九州大学」と「たびら昆虫自然園」に10万点異教の昆虫標本を寄贈されたことも、昆虫の町と謳う理由のひとつとなっているのかもしれない。



写真 639. でつかいカブトムシが目印



写真 640. 開店前だから閑散



写真 641. 昆虫食自動販売機



写真 642. 誰が買うのだろうか「コオロギ・スナック」



写真 643. 隠れた昆虫の里



写真 644. 田平天主堂（教会）

この後、隣の平戸に向かう。一見九州の本土最西端は平戸の先のように見えるが平戸は島なので、本土最西端にはならない。でも、この先端は「突端フェチ」には、惹かれる物がある。と言うことで、平戸大橋を渡って、平戸島先端を目指した。平戸大橋を渡るのは、高校の修学旅行以来だな。



写真 645. 平戸大橋



写真 646. 平戸大橋からの展望

国道 383 号はなんとなく南国の雰囲気。川内湾では、真珠貝の養殖棚が浮いていた。カトリック紐差（ひもさし）教会が見えてきたら、なんとなくカトリックの島「平戸」っぽく感じた。



写真 647. 快適な国道 383 号



写真 648. 南国の雰囲気

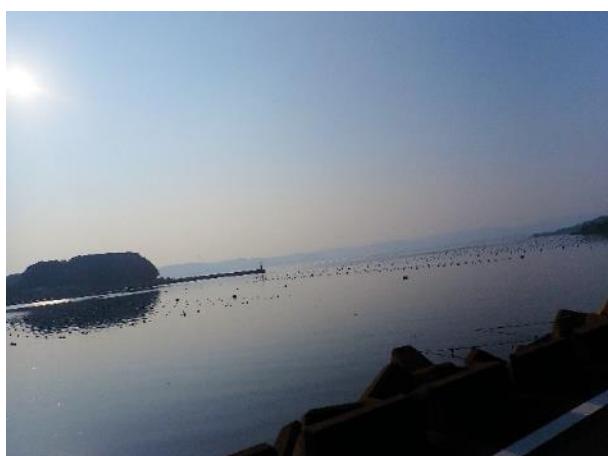


写真 649. 川内湾の真珠養殖棚



写真 650. カトリック紐差教会が見える

国道 383 号から県道 19 号に乗り換えて、先端の町野子町から、細い林道に入る。この入口がわかりにくく、行き過ぎて探してしまった。道幅は急に狭くなり、車はすれ違うのに苦労する道。最後は、狭い急な下りで、ダートになる。

先方の鳥焼島と砂州で繋がっているようだが、バイクで行けるのはここまで。コンクリで固定された「平戸最西端 戸屋久」と書かれた碑が立っていた。近くに Google Maps に出ていたかつての看板が朽ち落ちていた。



写真 651. 細い林道



写真 652. 砂州で渡れそう



写真 653. 最果て、「平戸最西端 戸屋久」

帰りの平戸島内は、紐差町あたりから脇に入り、県道 19 号まで山の中を走った。県道 19 号も国道 383 号に合流して、平戸大橋を渡って、島を出た。その後は、国道 204 号を東へと向かう。



写真 654. Google Maps の看板は朽ちていた



写真 655. 平戸大橋をもどります



写真 656. 国道の路肩で休憩

少し走ると、「松浦発電所」と「松浦火力発電所」の二つの火力発電所の前を通過。その後、突然道路脇の広場に巨大な「松浦水軍の兜」が出現。松浦水軍は、元寇の時にも活躍してくれたのですね。道は、程なく佐賀県に突入。



写真 657. 松浦火力発電所



写真 658. 松浦水軍の兜



写真 659. 松浦水軍の兜は意外と大きい



写真 660. 再び佐賀県に入りました

伊万里で有田川の河口の湾に架かる伊万里湾大橋を渡って、国道 204 号をショートカットする。この橋は、伊万里が陶磁器の里なので、その色に合わせた「銀鼠色」となっている。2003 年に開通した比較的新しい橋。橋からは、福島国家石油ガス備蓄基地のガスタンクが見える。その“福島”は、長崎県。この辺の諸島の県境は複雑です。



写真 661. 陶磁器色の伊万里湾大橋

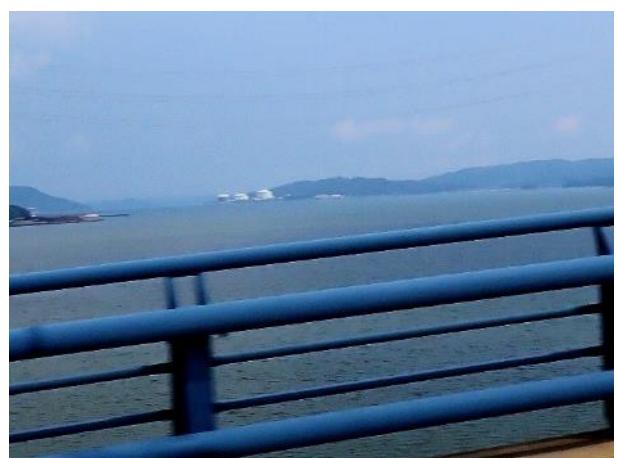


写真 662. 国家石油ガス備蓄基地が見える

国道 204 号から県道 342 号を通ってまた国道 204 号に戻る。途中発電風車が並んでいた。この辺も、洋上の発電風車誘致で話題になっているところかな？国道沿いには、鎮守神社が所々にある。また、何カ所も棚田があって観光名所として地図に出ているが、小さな棚田が多い。「寺浦の棚田」は景色は良かったが、休耕田のせいか棚田は感動するほどの物ではなかった。



写真 663. 発電風車が並ぶ



写真 664. 国道沿いの鎮守神社



写真 665. 寺浦の棚田（1）



写真 666. 寺浦の棚田（2）

国道 204 号が玄海原子力発電所を避けるように直角に曲がる。イメージアップのための「玄海エネルギーパーク」の楽しそうな建物が見えた。



写真 667. 玄海原子力発電所入口



写真 668. 玄海エネルギーパーク

次ページ（11_2） https://kurotora2.michikusa.jp/event/2025_Kyushu/2025_kyushu_11_2.pdf